

2022年度 事業報告書 (2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 私費外国人・日本人留学生 12名に対する奨学金支給事業の実施

(1) 支給対象者内訳

- 2022年度採用の新規外国人奨学生: 2名
- 2021年度採用の継続外国人奨学生: 4名*
- 2022年度採用の新規日本人奨学生: 3名
- 2021年度採用の継続日本人奨学生: 3名
- (※内1名は文科省助成金受給のため5月までの支給)

(2) 支給金額

- 1名につき月額100,000円を1年間支給した。
- ※新規日本人奨学生の内2名は10月から支給開始

2. 奨学生の交流活動の実施

(1) メールによる代表理事への近況報告(毎月1回)に関する往復

(2) エッセイ・レポートの提出

外国人奨学生、日本人奨学生とも、自由課題のエッセイや研究成果についての中間レポートの提出を求め、財団の機関紙やホームページに掲載した。年度末には一年間の総括である最終レポートの提出を求め、財団の機関紙やホームページに掲載した。

(2) 各行事の開催

① 「2022年度キックオフ」

- 日にち: 2022年4月8日
- 形態: オンライン zoom 開催(日英米同時)
- 参加者: 外国人・日本人奨学生12名、財団関係者3名
- 内容: 新規生へのオリエンテーション後、全員参加での自己紹介・研究内容のプレゼンテーション

② 「歌舞伎鑑賞教室」

- 日にち: 2022年6月19日
- 場所: 国立劇場(東京都千代田区)
- 演目: 彦山権現誓助剣 毛谷村
- 参加者: 外国人奨学生6名、財団関係者2名
- 備考: 鑑賞後昼食を交えての懇談

③ 「オンライン・ネットワーキング」

- 日にち: 2022年8月31日

形態： オンライン zoom 開催(日英米タジキスタン同時)
参加者： 外国人奨学生6名、日本人奨学生6名、財団関係者 3 名
内容： 「私を感じた・見たジェンダー・ギャップについて」をテーマに代表理事の基調
プレゼンに続き、各自 5 分間の発表を行い、イベント終了後も感想を交換し合って
交流を深めた。

④ 「日赤献血チャリティ・コンサート鑑賞会」

日にち： 2023年 1 月 8 日

場所：サントリーホール(東京都港区)

参加者： 外国人奨学生5名、財団関係者 1 名

演奏者：小林研一郎(指揮)、周防亮介(バイオリン)、東京都交響楽団

演目：チャイコフスキー・バイオリン協奏曲ほか

3. 奨学助成終了者との継続的な交流活動

(1) 奨学生同窓生との継続的交流

機関紙の送付などの機会を利用して同窓生ともメールを通じて積極的に継続的な交流
を図り、機関紙への寄稿などに結び付けた。

(2) 個別の対面による個人的交流

感染予防対策を講じながら、外国人奨学生・同窓生をはじめ、一時帰国した日本人奨
学生などと面会・懇談し、対面による交流を深めた。

(3) 刊行物の送付

奨学生同窓生に財団機関紙「財団 NOW」を定期送付した。

4. 支援者、関係機関、指定大学などとの情報交換

(1) 寄附金寄贈者、各種支援者に対する財団の活動状況報告を行った。

(2) メールなどを通じての情報交換は積極的に行った。

(3) 筑波大学国際交流室長、学生部長ほか 3 名が財団事務局を表敬訪問され、代表理事によ
る財団の説明や、これまで 40 名に及んでいる筑波大の奨学生・同窓生の近況など、懇談
の機会を得た(2022 年 6 月 30 日)。

(4) オックスフォード大学名誉総長クリス・パッテン卿の来日に際して開催された夕食会に事
務局長が出席(2022 年 10 月 17 日)。後日、当財団の支援に対して同名誉総長から感謝
状が贈られた。

5. 財団広報活動の拡充

(1) ホームページの内容を適宜、更新し、『活動報告』としてより多くの「奨学生レポート」を掲載

し、内外に紹介している。

- (2)機関誌「財団NOW」第110～113号を発行し、関係先に配布した。併せて、ウェブ・アンケート形式による感想への回答を奨学生に共有し、その返事を回答者に送るといった形で、多様な交流を進めた。

6. 2023年度奨学生の募集及び選考・審査

(1)募集期間:2022年10月1日～2022年11月30日

(2)指定大学応募者数:外国人留学生9名、日本人留学生1名

① 選考・審査委員会委員の書類審査の実施(2022年12月7日～25日)

② オンラインによる代表理事面接(2023年1月11日、12日)

応募者10名に対し個別面接を実施。

選考結果:外国人新規奨学生候補者3名

日本人新規奨学生候補者1名

外国人新規奨学生補欠者1名

外国人新規奨学生不合格者5名

③ 2023年度奨学生の決定

外国人継続奨学生1名

外国人新規奨学生3名

日本人継続奨学生5名

日本人新規奨学生1名

7. 公益財団法人への寄附金の受領

寄附金総額 31,077,000円

(1)個人寄附金寄贈者 3名

(2)企業団体寄贈者 3社

8. 諸会議の開催

(1)理事会

① 2022年度第1回理事会(2022年5月20日開催)

- ・第一号議案 2021年度事業報告(案)承認の件
- ・第二号議案 2021年度収支決算書(案)承認の件
- ・第三号議案 2022年度定時評議員会招集の件
- ・第四号議案 「マイナンバー及び個人情報保護規程」の改訂の件
- ・報告事項 定款第28条に基づく代表理事による職務執行状況報告の件

② 2022年度第2回理事会(2022年10月20日開催)

⇒原案通り全会一致で承認可決

- ・議案 「施設使用等に関する合意書」締結承認の件
- ⇒報告事項を了承
- ・報告事項 定款 28 条に基づく、代表理事による職務執行状況報告の件

③ 2022年度第 3 回理事会(2023年2月10日開催)

⇒書面決議により原案通り全会一致で承認可決

- ・第1号議案 2023年度事業計画書(案)承認の件
- ・第2号議案 2023年度収支予算書(案)、
資金調達及び設備投資の見込みについて(案)承認の件
- ・第3号議案 奨学生選考・審査委員 7 名の選任の件
- ・第4号議案 2023 年度奨学生(案)承認の件
- ・第5号議案 選考・審査委員会の審査方式(案)承認の件
- ・第6号議案 謝金規程(案)承認の件
- ・第7号議案 日本人留学生奨学金支給規程改訂(案)承認の件
日本人奨学生に対する奨学金の支給額を月に15万円とする

(2)評議員会

① 2022年度定時評議員会(2022年6月14日開催)

⇒書面決議により原案通り全会一致で承認可決

- ・報告事項
2022年度事業計画書について
2022年度収支予算について
2021年度事業報告書について
- ・議案 2021年度収支決算書(案)承認の件

9. 主務官庁による立入検査

5 年ぶりに内閣府公益法人行政担当官2名による立入検査実施(2022 年 11 月 16 日)。
文書による指摘事項なし

10. 主務官庁届出報告事項等

- (1) 内閣府にオンライン提出(2022年 6 月 20日)
提出書類:「2021年度事業報告書」「収支決算書」
- (2) 内閣府にオンライン提出(2023年 2 月 21日)
提出書類:「2023年度事業計画書」「2023年度収支予算書(収支予算の事業区分経理
の内訳表)」「資金調達及び設備投資の見込について」

以上